

太陽誘電の歩み

1950

1950年3月

太陽誘電株式会社設立
佐藤彦八 創業社長と設立当時の営業拠点(東京都千代田区)



1950年9月

チタン酸バリウム磁器
コンデンサ「ルチルコン」
を商品化



1954年9月

小型フェライトコア「フェリットコア」の生産開始

1980

1984年7月

ニッケル電極大容量積層
セラミックコンデンサを
世界で初めて商品化



1986年6月

EMCセンターを開設

1988年9月

世界初の追記型
光記録メディア「CD-R」
の商品化を発表



1960

1964年9月

技術研究所を設立

1965年

自社製フェライトコアを
用いたインダクタを
商品化



1967年5月

台湾・台北市に初の当社現地法人
「台湾太陽誘電股份有限公司」を設立

1990

1998年6月

電源回路用巻線チップインダクタ
「LBシリーズ」を商品化

1998年11月

R&Dセンターを開設



1970

1970年3月

東京証券取引所市場第二部に上場、
1973年には一部に指定替え

1976年7月

アキシタルリード型磁器
コンデンサを世界で
初めて商品化



1977年4月

アキシタルリード型
インダクタを商品化

1977年10月

世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発

2000

2000年

海外4生産拠点を同時立ち上げ

2001年4月

Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格
Ver1.1認証を世界で初めて取得

2010

2010年3月

太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化

2012年5月

メタル系パワーインダクタ
「MCOIL™(エムコイル)」
を商品化



2014年9月

0201サイズ積層
セラミックコンデンサ
を商品化

